

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 多文化共生センター大阪

1. 事業名称

日本に住んでいる外国人のための漢字教育

2. 事業の目的

日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになることを目標とする。

留学生とは異なり、いわゆる「生活者としての外国人」とよばれる外国人住民は、日本語を生活の中で身につけているケースが多い。そのような形で身につけた日本語などの音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指す。

3. 事業内容の概要

特に、子育て中の人も含む日本人配偶者等を対象に、託児環境を整備し、子連れでも参加しやすいようにする。開催する教室では、日本で生活を送る上で必要な漢字語彙に加え、子育て世代が必要な漢字語彙も取り上げる。そのためのオリジナル教材を開発する。また、パソコンを使って漢字を学習するための方法を模索し、それを実践するボランティアの養成を行う。

講座において漢字に興味を持ち、身の回りの漢字が認識できるようになった学習者の次のプロセスとして、漢字の読み書きの習得と、より多くの漢字の獲得のために、基礎体力作りから、自律的学習能力の養成までをどのように組み入れて行くかを考えたい。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

* 場所については下記の略称を用いる。

大阪市立総合生涯学習センター→大セ

大阪産業大学サテライト教室→大産

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	7月 12日 (木) 18:00 ～19: 00	1時 間	大 セ	岡本和夫 丸岡敏夫 中村満寿央 永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	事業開 始にあ たって	1. 出席者自己紹介 2. ご挨拶 ・大阪市立総合学習センター 岡本課長 ・多文化共生センター大阪 中村理事 3. 本年度の事業について Woo Wai Sheng 1) 事業全体について 2) 養成講座実施について 3) 漢字教室実施について 4. 大阪市立総合生涯学習センターへのご依頼 1. 申し込み受け付けについて 2. チラシ配布 3. 開講日・閉講日の挨拶 4. 保育紹介 5. 大阪市立総合生涯学習センターより 1) 養成講座チラシ配布についてのご協力 2) 漢字教室チラシ配布についてのご協力 3) 基礎レベルの日本語教室でのチラシ配布のご協力 4) いちよう並木掲載について 5) 新聞社について 6) 保育について 7) 受付について 6. その他
2	9月4 日 (火) 13:30 ～17: 00	3.5 時間	大 セ	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	養成講 座開講 にあたっ て	1. 養成講座について 1) 定員および抽選 2) 受講通知 3) 託児について 4) 開講式の挨拶依頼 5) 最終アンケート 6) 教室見学について 7) アシスタントの方へ講座開始の連絡。 8) 配布物について

						2. 漢字教室について 1) 担当者決定、講座日程表の作成 2) テーマについて 3) 写真の取り扱い 4) 募集方法 3. 開講準備について 1) レジューメについて 2) 備品購入について
3	12月8日 (土) 9:30～12:00	2.5時間	大セ	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	講座の振り返り、今後の内容検討など	1. 養成講座振り返り 1) アンケート集計 2) 最終発表の振り返り 3) 全体の振り返り 2. 漢字教室の今後のテーマについて検討 1) パソコンを使用しない回の内容 2) パソコン使用回の内容 3) 最終回 3. 教材作成について
4	1月19日 (土) 9:30～12:00	2.5時間	大産	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	講座の振り返り、今後の内容検討など	1. 事業運営 1) 会計確認 2) 報告会の開催について 3) 報告書 4) 授業補助者 5) 受講者からの写真 6) 識字・日本語センターの紹介 7) 修了式 8) 教材作成
5	2月10日 (土) 9:30～12:00	2.5時間	大セ	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	講座の振り返り、今後の内容検討など	1. 事業運営 1) 会計確認 2) 報告会の開催について 3) 教材作成 4) 文化庁からのコンテンツ登録の依頼について 5) 養成講座修了生の声

6	3月3日 (日) 9:30 ~12:00	2.5 時間	大 セ	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	講座の 振り返り	1)教材作成 2)会計の清算 3)アンケート最終版 4)運営委員会などの出欠席の確認 5) 報告書、新庄が書く。 6) 修了証書の基準の確認
7	3月 16日 (土) 13:00 ~ 14:30	1.5 時間	大 セ	岡本和夫 丸岡敏夫 中村満寿央 永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	事業報 告	・主催者からの御礼 ・講座完了報告 ・講座実施グループからの感想 ・大阪市立総合生涯学習センターからの質問と意見 ・終了挨拶
8	3月 17日 (日) 9:30 ~ 12:00	2.5 時間	大 セ	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ 新矢麻紀子	報告書 について	・報告書の内容検討 ・報告書の作成 ・報告書の完成および提出

編集委員会						
回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年2月26日(火) 9:30～12:00	2.5時間	大セメディア研修室	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ	教材検討	1. テキストの仕様・構成・内容 1)フォルダ利用について 2)フォルダは二種類作る。 (1)写真篇・ルール編の分割 (2)名称について (3)イントロについて 使い方等について簡単な説明を入れる。 3)担当の決定 2. 著作権関係 各所に問い合わせる
2	平成25年3月12日(火) 9:30～12:00	2.5時間	大セメディア研修室	永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng 新庄あいみ	教材検討	1. テキスト仕様追加決定 2. 教材の決定 3. 各自作成ファイル検討 4. 著作権許諾依頼結果・経過報告

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称

日本に住んでいる外国人のための漢字教室 ―パソコンを使って漢字を勉強しよう―

(2) 目的・目標

日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになることを目標とする。

留学生とは異なり、いわゆる「生活者としての外国人」とよばれる外国人住民は、日本語を生活の中で身につけているケースが多い。そのような形で身につけた日本語などの音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指す。

(3) 対象者

- ・漢字の読み書きを習得したいと思っている者
- ・ひらがなとカタカナの読み書きがある程度できる者
- ・簡単な日本語の会話ができる者
- ・大阪市主催の「基礎レベルの日本語教室」を修了した者など
- ・保育が必要な者も含む

(4) 開催時間数(回数) 50 時間 (全 20 回)

(5) 使用した教材・リソース

『生活の漢字』(H20年度文化庁地域日本語教育支援事業「日本語教材作成」で作成したテキスト)、『新にほんご<生活の漢字>漢字み～つけた』(アルク)、その他自主教材

(6) 受講者の総数 24 人

(出身・国籍別内訳 タイ 11 名、韓国 5 名、フィリピン 4 名、中国 2 名、
キューバ 1 名、フランス 1 名)

* タイ人 11 名のうち 5 名は講座後半から集団帰国した。

(7) 受講者の募集方法

チラシを市内の生涯学習センターなどの公共施設やボランティアが開催している日本語教室、大阪府が主催する「基礎レベルの日本語教室」などで配布した。また多文化共生センター大阪の HP を活用し募集を行った。

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年10月11日 9:30～12:00	2.5時間	22	韓国(5)、タイ(9)、フィリピン(4)、中国(2)、キューバ(1)、フランス(1)	開講式(パソコンの操作、かな入力、ニーズ調査)	開講式 1)主催者、協力者挨拶、2)講師挨拶、3)講座スタッフ自己紹介、4)受講者自己紹介、5)講座についての紹介 パソコンに、五十音表を見ながらひらがなとカタカナを打ち込む。インタビュー＆アンケートを実施。・カタカナかるたゲーム
2	平成24年10月18日 9:30～12:00	2.5時間	22	韓国(5)、タイ(9)、フィリピン(4)、中国(2)、キューバ(1)、フランス(1)	カレンダー(おまけ:お金)、ひらがな	・ひらがなの復習(「あ」から「ん」まで手書き)「ひらがなの復習シート」を配布・漢字変換の紹介および練習「ローマ字入力補助プリント」(2枚1セット)を配布1)数字・カレンダーを見せ「一月～十二月」を読ませて数字を認識させる。・入力練習・ルビつけの練習2)曜日・日本の曜日と他国の曜日の違いを紹介する。・同じくカレンダーの「十月」を見せ「日曜日～土曜日」を読ませて曜日を認識させる。・入力練習・ルビつけの練習・「わたしのたんじょうびは 月 日です。」3)CDへのファイル保存の仕方4)書く練習「漢数字および曜日の漢字練習シート」を配布「一、二、三、四、五、六、七、八、九、日、月、火、水、木、金、土、年」、
3	平成24年10月25日 9:30～12:00	2.5時間	20	韓国(4)、タイ(9)、フィリピン(4)、中国(2)、キューバ(1)	漢字の構成①(ベーシックストローク)、カタカナ	漢字のベーシックストロークを全員で行う。カタカナの復習を行う。

4	平成 24 年 11 月 1 日 9:03 ～ 12: 00	2.5 時 間	22	韓国(5)、 タイ(9)、 フィリピン (4)、中国 (2)、 キューバ (1)、フラ ンス(1)	店、ス ーパー	携帯で撮ってきた写真を取り上げる。 エアコンのリモコンの写真(冷房、除湿、暖 房、温度、停止) 1)よく見かける店の看板の漢字 ・本(書店)、花、米、酒、薬、薬局、銀行 ATM ・入力練習 2)「営業中」「準備中」「定休日」「営業時間」 「朝 8 時より営業」「24 時間営業中」「年中無 休」・入力練習。漢字練習シート「本、花、酒、 米、薬」を手書き。 ★練習した漢字本、花、米、酒、薬 3)スーパーの見取り図をイラストで見せる。 ・見取り図に出ている漢字を取り出して読む。 ・「鮮魚」、「精肉」、「青果」の入力練習を行う。
5	平成 24 年 11 月 8 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	24	韓国(5)、 タイ(11)、 フィリピン (4)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	食べ物	・携帯でとってきた漢字の写真を取り上げる。 ファクシミリの表示 今から録音、留守、戻っ て録音、迷惑電話、オンフック、留守件数 再 ダイヤル、着信記録、登録、画質/カナ、キャ ッチ/消去、内線/保留 ワンタッチダイヤル、 再生1)安いです。・20%引、3割引、半額・本 日限り、本日の広告の品・～コ、～本、～袋☆ 書き練習 20%引、3割引、半額2)どこので すか。・「産」「国産」・豚肉、牛肉、鳥肉、鶏肉
6	平成 24 年 11 月 15 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	21	韓国(5)、 タイ(8)、 フィリピン (4)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	駅	・携帯の写真 1)よく見かける店の看板の漢字 ・駅、環状線 ・入力練習、環状線の駅名は読み上げるのみ 2)改札口、東西南北口、入力。 漢字練習シートを配布し「駅、線、口、東西南 北」を手書き。 3)快速、普通、特急、急行、普通、各停 入 力 4)先発、次発、次次発 5)地下鉄、新幹線 6)女性専用車両の説明

7	平成 24 年 11 月 22 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	21	韓国(5)、 タイ(9)、 フィリピン (3)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	日本人 の名前	携帯で撮ってきた写真があるかどうかを聞く。 1) 名前が使われているもの。(名刺、表札、 名札、選挙ポスター、祝儀袋) 2) 日本人の名 前のパターンについての説明、3) 名前に使 われる漢字の組み合わせ、4) 名前の意味、 よく使われる漢字 山、田、木、林、森、石、川、青、大、中、小、 上、下、村、野、藤、橋 日本人によくある名前ベスト20の名前の入力 携帯写真「 駐車禁止、他人に迷惑をかけ行 為」を取り上げる
8	平成 24 年 11 月 29 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	18	韓国(4)、 タイ(7)、 フィリピン (3)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	住所手 書き、 送り状 の作 成、漢 字の構 成の認 識	住所の説明(1 ページ目)都道府県の説明(プ リント2枚)都道府県の練習(書く)個別の町名 の練習。書き順があるものを練習。個別の住 所練習(巡回で指導する)送付状の名称の説 明送付状に書き込む練習余裕がある人は縦 書きの練習
9	平成 24 年 12 月 13 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	19	韓国(4)、 タイ(8)、 フィリピン (3)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	年賀状	住所書き練習。横書き、縦書き、小さい字を練 習する。「住所手書き練習用紙」 年賀状の文面を学習する。 干支について。 はがきの表書きについて。「はがき表書き例」 「様」練習。デザインを選んで、印刷する。 表書きに自分の住所を書く。 年賀はがきを出す期間、ポスト、お年玉付き などの情報提供。

10	平成 24 年 12 月 20 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	20	韓国(4)、 タイ(8)、 フィリピン (4)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	漢字の 構成② (部首 &つく り①)、 形の認 識	【音訓読み】 ・導入:今まで習った漢字をいくつか提示し、読み方が複数あることに気付かせる。 (例:木曜日・木、電車・車、住所・住む、薬局・薬) ・「音読み、訓読み」について、漢字の日本への伝来を交えながら説明する。 ・「漢字が1つだけの時と、ひらがなと一緒に読みたい訓読み」、「漢字が2つ以上の時は読みたい音読み」を基本的なルールとして伝える。 ・1)のプリントを配布し、練習問題をやってみよう。のち答えあわせと解説。 【部首】 ・導入:2)のプリントを配布し、「漢字をパーツに分けることができる」を伝える。 ・漢字のパーツのパターン(=漢字の構成)に意識させる。 例えば、辺、冠、構など。 ・「部首に意味がある」=「部首は意味を表す漢字のパーツ」
11	平成 25 年 1 月 10 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	19	韓国(5)、 タイ(8)、 フィリピン (2)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	災害	災害情報写真を用いながら・「緊急地震速報、強い揺れに警戒、地震発生、津波、震度、高台へ避難」を説明し、入力練習を行った。・「警報・注意報」を説明し、入力練習を行った。・「台風、暴風」と「暴風警報・暴風注意報」を説明し、入力練習。「大雨、洪水、波浪、雷、竜巻」と「大雨警報・大雨注意報」や「洪水警報・洪水注意報」などを説明し、入力練習。 災害時避難所・多言語表示の「災害時避難所」の写真を見せ、説明を行ったのち、入力練習。・「震災、風水害」の写真を見せ、説明を行った。漢字練習地震、津波、避難。

12	平成 25 年 1 月 17 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	14	韓国(4)、 タイ(6)、 中国(2)、 キューバ (1)、フラ ンス(1)	学校	学校の外。学校名(大阪市立長吉小学校) 校門の掲示(関係者以外立ち入り禁止、保護 者、入校証、学年、組、名前、用件、職員室、 等)、塀の掲示(災害時避難所) 学校の中、校長室、職員室、3年2組、土足厳 禁、日直、そうじ当番 漢字練習 学校、3年2組、保護者、職員室、校長室、時 間割、国語、算数、理科、社会、図工、音 楽、体育 いろいろな教室、理科室、音楽室図書館、保 健室、給食室、現在地(校舎配置図)
13	平成 25 年 1 月 24 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	13	韓国(5)、 タイ(3)、 フィリピン (1)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	銀行・ ATM	銀行銀行名 ゆうちょ銀行、りそな銀行、りそ なクイックロビー三井住友銀行、三菱東京 UFJ 銀行 通帳 三菱東京 UFJ 銀行、総 合口座通帳、様、口座番号 ATM 最初の画面 (メニュー) お引き出し、お預け入れ、お振り 込み、残高照会、通帳記入・繰越、マイカー ド、お振り替え、クレジットカード、カードの暗 証番号変更、その他取引 English 漢字練習 銀行、通帳、通帳記入、預け入れ、引き出し、 振り込みお金をおろす。(操作方法)通帳・記 入繰越機
14	平成 25 年 1 月 31 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	13	韓国(3)、 タイ(4)、 フィリピン (2)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	漢字の 構成③ (音訓 読み、 部首 & つくり ②、音 の記号 ①)	【漢字の成り立ち】(復習) 2)のプリント「漢字はこうにできました！」 を配布する。 ①漢字は絵です。 ②漢字はコンセプトです。 ③漢字は「漢字+漢字」です。 ④漢字は「意味+音」です。←「読み方がわか る記号」への伏線 【部首】(意味がわかる記号) ・導入:1)のプリントを配布し、部首となりうる 漢字と同じパーツを持つ漢字を探す。 ・練習:同じ部首を探す。 【部首】の続き

						【読み方がわかる記号】 ・導入：1)のプリントを配布し、読み方がわかる記号となりうる漢字と同じパーツを持つ漢字を探す。 ・練習：同じ読み方がわかる記号を探す。
15	平成 25 年 2 月 7 日 9: 30～ 12: 00	2.5 時 間	10	韓国(3)、 タイ(1)、 フィリピン (2)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	病院	インフルエンザ予防(ポスター)手を洗いグ マ、お口をカバー病院病院、診療所、医院、ク リニック 診療科目内科、外科、歯科、眼 科、耳鼻科(耳鼻咽喉科)、小児科、産婦人科 漢字書き練習病院、医院、内科、外科、歯 科、耳鼻科、小児科、産婦人科診療時間、休 診日、休日急病診療所
16	平成 25 年 2 月 14 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	14	韓国(5)、 タイ(4)、 フィリピン (1)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	薬	休日急病診療所 診療科目、診療日、診療時間、受付時間 問診票 英語訳があるもの 歯科医院の問診票(学習者が持参した実物) 実際に記入してみながら進める。 診察券 薬袋 内用薬、外用薬、様 用法 1日1回、 食前、食後、食直後、食間、()時間毎 カプセル、錠剤、散剤 市販薬の外箱(総合感冒薬) 「用法」1回3錠、1日3回、食後 30 分以内

17	平成 25 年 2 月 21 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	15	韓国(5)、 タイ(4)、 フィリピン (2)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	不在連 絡票	街角で見かける漢字・大阪市港区「津波に注意」の表示の写真を見せる。・表示の中から「津波」、「地震」「避難」を探す。・入力練習。不在連絡票「導入」・宅配会社の従業員の写真を見せる。・受講者と一緒に母国での宅配事情について話す。・不在連絡票を写真および実物で見せる。「語彙の説明および入力練習」・ご不在連絡票、種別、宅配便、冷蔵・冷凍、着払、代金引換・再配達受付、担当ドライバー直通、インターネット受付、再配達自動受付「語彙の説明および入力練習」の続き・営業所でのお引取り・支店漢字練習再配達、受付。
18	平成 25 年 2 月 28 日 9:30 ～ 12:00	2.5 時 間	15	韓国(4)、 タイ(4)、 フィリピン (3)、中国 (2)、キュー ーバ(1)、 フランス (1)	漢字の 構成④ (部首 &つく り③、 音の記 号②、 熟語に おける 濁音、 促音 化)	【音がわかる記号】(復習) ・1)のプリント p.38 を配布する。 ・提示されている熟語を読んで、同じ読み方の漢字を探す。 ・同じ読み方の漢字が見つかったら、その読み方を示す漢字のパーツを確認する。 (反、官、長、求)(其、復、講のつくり、陰のつくり) 【部首】(復習) ・1)のプリント p.43 を配布する。 ・文章を読んで、文中に部首が欠けている漢字に部首を記入する。 (日、さんずい、心、火、貝、力、口、言、てへん) 【二字熟語・複合語における濁音化】 ・1)のプリント pp.22-23 を配布し、説明を行う。 ・練習:濁音化後の読み方を記入。 【二字熟語における促音化】 ・1)のプリント pp.22-23 を配布し、説明を行う。 ・練習:促音化後の読み方を記入。

19	平成 25 年 3 月 7 日 9: 30～ 12: 00	2.5 時 間	16	韓国(4)、 タイ(5)、 フィリピン (3)、中国 (2)、キュー バ(1)、 フランス (1)	パート、ア ルバイト探 し	パソコンの回の復習・下記のトピックで取り上 げた漢字語彙の読み方および書き取りの復 習。「カレンダー」、「店と食べ物」、「駅」、「災 害」、「ATM」、「病院」。店頭求人広告「導入」・ 店頭で掲示されている求人広告を見たことあ るかを聞く。・日本 & それぞれの国でのパー ト・アルバイト探し事情について話す。「語彙 の説明および入力練習」・正社員、パート、ア ルバイト、数名・職種、接客、調理・時間、出 勤日、応相談、資格「語彙の説明および入力 練習」の続き・給与、時給、日給、月給・土日 祝出られるかた優遇、詳細は下記へお問い 合わせ下さい。・店名・担当のおおさか識字・日 本語センターの HP の紹介・資料 3 枚配布・HP で日本語教室の探し方漢字練習:時給
20	平成 25 年 3 月 14 日 9:30 ～ 12: 00	2.5 時 間	13	韓国(3)、 タイ(5)、 フィリピン (2)、中国 (1)、キュー バ(1)、 フランス (1)	修了式 (住所 手書 き、受 講感想 の各国 語アン ケー ト、日 本語教 室の紹 介など	住所練習シートに自分の住所を書く。 終わった人は教室の申込書に住所を書き、最 初に書いた申込書と比較してみる。 住所練習が終わった人からアンケート用紙に 記入する。 しきじ・日本語センターの HP を開き、各自の 自宅に近い教室を検索する。 教室一覧のプリントを持っていない人には渡 す 修了式 1)主催者挨拶 ・多文化共生センター大阪 ・大阪市立総合生涯学習センター 2)講師挨拶 3)講座アシスタント挨拶 4)受講者から一言 5)修了証書授与

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第2回(カレンダー) 担当: ウー・ワイシェン (Woo Wai Sheng)

第2回は実物のカレンダーおよびカレンダーの写真を教材として用いて、漢数字と曜日を認識して読めるようになることを目標としている。授業の流れは次の通りである。

まず、漢数字については次のように授業を進めた。カレンダーを1ページずつプロジェクターで見せて、「一月～十二月」を読ませて漢数字を認識させた。「一月～十二月」を読んだあと、各自のパソコンで入力練習を行った。更に、ルビをつける練習も行われた。パソコンにおける文字入力に不慣れな受講者に講師および補助者が個別にアシストした。

次に、曜日については次のように授業を進めた。日本の曜日名と他国の曜日名の違いを紹介し、同じくカレンダーの「十月」を見せ「日曜日～土曜日」を読ませて曜日を認識させた。漢数字と同様に、「日曜日～土曜日」を読んだあと、入力練習とルビつけの練習も行った。それに加え、「わたしのたんじょうびは____月____日です。」と、穴埋め式に各自の誕生日を漢数字で入力する練習を行った。

受講者のうち、漢数字の一から十、曜日の「月、火、水、木、金、土、日」と「年」を既に知っている人が多かった。しかし、パソコンで入力するのが初めてという受講者は少なくなく、パソコンで知っている漢字が出力できることに感動しているように見える人もいた。自宅で、母語でパソコンを使用している受講者もいるが、日本語でパソコンを操作するのが初めての人ほとんどであった。新鮮感を感じたと共に、漢字の習得に新たなモチベーションを得た受講者もいるのではないかとと思われる。

一方、カレンダーを1ページずつ見せていくと同時に、各月に使われているイラストに注目させ、それについてクラス全体で話すことも行った。例えば、一月に正月のイラストがあるが、各自の母国で正月はいつか、なにをするかについて講師が受講者に問いかけ、学習者が答える。また、四月に花見のイラストがあるが、入学式・入社式も花見とほぼ同時期で行われることを講師が話し、受講者にそれぞれの母国で入学式・入社式がいつかについて尋ね、受講者が答える。そうすることによって、漢字の習得と同時に、多国籍の受講者が互いにそれぞれの国を知ることができ、情報交換することで親睦が深まったのではと考えられる。

第8回(住所を書く) 担当: 新庄あいみ

第8回は「住所を書く」というテーマで、パソコンではない一般の教室で学習した。まず、住所の基本的な書き方である、都道府県名、市町村名、番地、氏名の順に書くといった説明を行い、日本の47都道府県の紹介を行ったあと、自分の名前と住所を書く練習を行い、荷物の送付状に書く練習を行った。住所は各々異なるので、一人ひとりの住所を書き入れたプリントを作成した。また

今回は「手書きで書かれた」文字にも慣れてもらいたかったためパソコンで作成したプリントだけではなく、手書きで各自の住所を書いたプリントも渡した。受講者は自分だけのプリントに驚いたようで、「うれしい！！」との声をもらった。それらの声の通り、休憩の10分を除いて、机に向かい何度も何度も自分の住所を練習し、送付状に書き入れる受講生たちの姿が見られた。私には到底真似することができないような集中力に頭が下がる思いであった。

基本的にこの教室ではパソコンを用い、「漢字が読めるようになること」を目標に授業をすすめている。そのなかで住所だけは「漢字が書けるようになること」を目標にした活動であるが、住所を自分ひとりで書けるようになることが外国人にとって身につけたいスキルであることを改めて実感した。

最終回には再度住所を手書きで書いてもらい、教室の申し込み時に記した住所と見比べてもらった。教室申し込み時は自分で住所が書けず、家族に書いてもらったという受講生もいたが、最終回には全員が自分で住所が書けるようになった。「自分で住所を書くことができる」ということは、受講生にとって喜びであるとともに自信に繋がる。この気持ちが今後の学習継続の動機のひとつとなることを願う。

第12回 学校 担当:御子神慶子

第12回は学校をとりあげた。「保護者として学校に行く」という視点で、どんな漢字やことばがわかるかというかかを考えて、教材にした。

校門、職員室、校長室、教室の外と中、理科室、音楽室、図書館、保健室、給食室の写真を見ながら、書かれている漢字の意味を学習した。

校門は登下校時間以外は閉まっていて、ブザーを押して入らなければならない。そこに漢字で何か書いてあるが、わからないと、拒否されたように感じるのではないだろうか。タイのお母さんが、ブザーが二つあって、いつもどちらを押したらいいかわからなかったが、きょうの勉強でわかったと言ってくれたのがうれしかった。受講者さんたちの国では門は開いているところが多いそう。

給食室の学習をしているとき、一人の受講者さんが、奥さんが給食室で働いている、と言い、皆がびっくりした。各国の学校の昼食について聞いたかったが、時間がなくなってしまっただけだった。

書く練習では、「学校、3年2組、保護者、職員室、校長室」の5つの語をとりあげた。「保護者」は難しい漢字に見えるが、お知らせなどでも常に使われることばであり、お子さんが学校に行っている受講者さんにとっては、まさに欲しかったことばであった。

(なお、写真は今回の事業のために、大阪市長吉小学校と松原市立天美北小学校で許可をいただいて撮影したものです。長吉小学校の写真は御子神が、松原市立天美北小学校の写真は養成講座受講者の村上自子さんが撮影しました。両校の先生方と、ご紹介の労をとってくださった村上さん、撮影時にご案内くださった橋本先生に感謝いたします。)

授業風景



家族からの「頑張れママ」というメッセージ付きのファイルを片手に漢字練習

(10) 目標の達成状況・成果

本講座は、日常生活において必要な漢字を認識することができること、および、より多くの漢字を獲得するための自律的学習能力の養成、という2つのことを学習目標としている。講座の修了式で出席した受講者 13 名全員にアンケート調査を実施し、その結果から当初の学習目標の達成状況を次の通りに報告する。

【日常生活において必要な漢字を認識することができること】

- ・日本語が前より読めるようになった。もっと勉強したい。
- ・すべての(生活の)側面が変わりました。
- ・ひとりで病院に行けるようになった。薬の説明文が読めるようになった。
- ・(生活が)変わった。
- ・変わった。勉強が好きになった。自分のことひとりでやるようになった。
- ・自信ができた。気持ち的に余裕ができた。日本語が書けるようになって、読めるようになった。
- ・ご近所さんや友人と日本語で話せるようになった。
- ・スーパーで買い物ができるようになった。
- ・迷子になっても道を尋ねることができるようになった。
- ・テレビで言っていることの 60%を理解できるようになった(以前は0%だった)
- ・カタカナ、ひらがな、いくつかの漢字を使って日本語が書けるようになった。
- ・新聞、雑誌、本が読めるようになった。
- ・日本語を使って大阪(日本)で職探しができるようになった。

- ・住所が漢字で書ける。いくつかの漢字が読める。
- ・自分の名前や住所が漢字で書けるようになった。
- ・一人で電車に乗り、どこにでも行けるようになったので良かった。スーパー、病院など。
- ・特に変わったことはないが、勉強しながら情報を得ることができた。例) 年賀状、災害情報、宅配など。

【より多くの漢字を獲得するための自律的学習能力の養成】

- ・(漢字が)好きになった。大好き。もっと勉強したい。
- ・(一人でも)勉強する。
- ・(一人でも)勉強したい。先生に学校に連絡していただきたく、勉強を続けたいので、特にコンピューター。
- ・漢字の勉強を続ける。辞書や教科書を買って、声を出して練習する。
- ・このコースが終わっても、また勉強したい。なぜならば、初めて漢字を勉強したからだ。もし同じ内容でもう一度勉強ができれば、さらに理解が深まるのではないかと思う。
- ・もっと勉強したい。日本語能力試験に合格すると仕事に有利だから。
- ・漢字が好きになった。もっと勉強したい気持ちがありました。
- ・漢字の勉強が楽しくなってきた。きれいに書けるとうれしく感じるようになった。
- ・パソコンで漢字を練習して、教科書と辞書を買って勉強したい。
- ・教科書、辞書、教室、テレビ、インターネットなど可能な限り全ての方法で日本語の勉強を続けたいと思います。
- ・最初は漢字が嫌いで、漢字を見ると頭が痛くなったが、全部の勉強が終わってみると、今は漢字が好きでもっと漢字を勉強したいと思っている。
- ・今は漢字をもっともっと勉強したい。前は漢字の勉強は不可能だと思っていた。今は漢字の勉強が不可能ではないと思えるようになった。
- ・続けたいと思う。他に漢字クラスがあれば是非行きたいが、今は自分で勉強しようと思っている。
- ・忙しくないときにうちで勉強する。

以上のことを鑑み、本講座の学習目標はある程度達成できたといえる。

(11) 改善点について

パソコンのスキルが乏しい学習者が例年より多かった。できる限りのサポートは行ったが、操作を困難に感じる学習者がいた。またファイルの問題からテキストボックス等を操作しなければならないこともあり、難しい操作が必要とされることもあった。パソコンの操作はルビや漢字変換、保存や印刷といった最小限に留めることが必要であると思われる。

予算の関係上、20回の開催となった。しかし、限られた時間では扱えるテーマは生活の場面における一部分となってしまう。学習者の声にもあるように長期的な開催を行えることが望ましい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

日本に住んでいる外国人のための漢字学習支援者養成講座

(2) 目的・目標

日本に住んでいる外国人のための漢字学習支援者を養成する。

(3) 対象者

日本語教室等でボランティアをしている人、したい人。

(4) 開催時間数(回数) 15 時間 (全 6 回)

(5) 使用した教材・リソース

オリジナル教材

(6) 受講者の総数 20 人

(出身・国籍別内訳 日本 20人)

(7) 受講者の募集方法

チラシを作成し市内の生涯学習センターなどの公共施設やボランティアが開催している日本語教室に配布した。また多文化共生センター大阪のHPを活用し募集を行った。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍 (人数)	取組の テーマ	授業概要
1	平成24年9月13日 9:30～12:00	2.5時間	17	日本国籍(全員)	外国人と文字習得	開講式 ・主催者挨拶、協力者挨拶、講師、講座スタッフの自己紹介 ・講座についての説明 グループ分け①→自己紹介 第1部「外国人って誰のこと？」 グループ分け②→自己紹介 第2部「日本語ボランティア教室ってどんな所？」・話し合う・代表が発表 ・講師からのコメントや補足
2	平成24年9月20日 9:30～12:00	2.5時間	19	日本国籍(全員)	パソコンを活用した漢字学習の支援	・パソコンを活用した漢字学習支援 ・模擬授業(災害情報) ・パソコン入力のコツ ・質疑応答
3	平成24年9月13日 9:30～12:00	2.5時間	20	日本国籍(全員)	体系的な漢字学習の支援	1)体系的な漢字学習について・体系的って何？支援する側に知識として何が必要？どんな手順・ステップが考えられる？ 2)グループ発表 3)漢字教室では、このように漢字学習を支援しています(パート1)「漢字の基礎知識」・カタカナを漢字を教える時にどう活用する？部首と音訓読み 4)漢字教室では、このように漢字学習を支援しています(パート2)「漢字の構成」「音の記号」番外編 部首とつくりを組み合わせる漢字をつくるゲーム 5)漢字圏出身の漢字学習について・発音(漢字の読み方)、字形(漢字の形)、語彙(日中同形異義語)

4	平成 24 年 9 月 13 日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	18	日本国 籍(全 員)	ワークシ ョップ	最終回(12月6日)にグループごとに発表。今日の内容を参考に、自分のアイデアを形にする。グループごとに発表。1グループ 20 分程度。(説明と実演) グループは今日座っているグループ。 パソコン使用回の授業の流れ ①授業開始まで ②講師側の操作 ③受講者の操作 ④授業終了時 受講者が CD に記録 日本語入力 カレンダー カレンダーが初回の理由を 考えてみよう 店・スーパー・食品表・銀行 受講者が実際に入力する おおさか識字・日本語センター紹介(リストも配布) 「正しい漢字の書き順」ウェブサイト紹介 グループで打ち合わせ
5	平成 24 年 10 月 8 日、25 日、11 月 1 日、8 日、15 日、22 日、29 日のい ずれか 1日 9: 30～ 12:00	2.5 時 間	各 1 ～ 4 名	日本国 籍(全 員)	漢字教 室見学	見学1(講師:ウー)見学者は下記の 4 名 太田裕子、村上薫、能勢靖子、山岡悦子 見学2(講師:新庄)見学者は下記の 3 名 岩切 えち子、瀬脇 美都江、福田満 見学3(講師:新庄)見学者は下記の 4 名加藤 敦子、木内 淑子、松嶋 小百合、村上 なつき 見学4(講師:御子神)見学者は下 記の 4 名志積恵子、堀 代志嗣、太田ひ かり 見学5(講師:新庄)見学者は下記の 2 名松ヶ迫和隆、村上自子 見学6(講師: 新庄)見学者は下記の 3 名新田幸代 見学7(講師:新庄)見学者は下記の 1 名能勢 靖子

6	平成 24 年 12 月 6 日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	19	日本国 籍(全 員)	受講者 による発 表	見学の感想などをグループ内でシェア。 プリントに記入 ・見学した回の内容 ・見学の際に気づいたこと 各自3分くらいで他のメンバーに話す。 グループ発表 他のグループの発表を見て各グループ からコメントや質問を必ず出してもらう。 漢字練習プリントを作成。 漢字学習支援のコツ アンケートの記入
---	--	------------	----	------------------	------------------	---

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



(10) 目標の達成状況・成果

本講座の目的・目標は「日本に住んでいる外国人のための漢字学習支援者を養成する」である。講座の修了式で出席した受講者 19 名にアンケート調査を実施し、その結果から当初の学習目標の達成状況を次の通りに報告する。

【新しく体得したこと、有益だったことがある。】チェックは 15 名

- ・パソコンを使っでの学習は、パソコン操作についてもしっかり時間が必要なことを感じた。また、漢字を扱うのにやさしい漢字からしていくという視点ではなく、生活で使う場面から漢字を学習するという新しい視点を知ることができました。ありがとうございました。
- ・楽しくボランティアをすることがボランティアを続ける力だと改めて教えてもらった講座だった。パソコンではなく携帯電話を使って漢字学習の方法は良いアイデアだと思った。
- ・目からうろこのことがたくさんありました！やはり日常からたくさんの学習者さんに関わってお

られる方の意見は貴重です。

- ・「パソコン入力」や「そらがき」を利用することがわかり、有益でした。
- ・PC の有効利用、活用の工夫点がいくつか。
- ・他の分野では色々と活動していましたが、日本語に関する活動は、ボランティアをはじめ、初めての経験でしたので、とても勉強になりました。私自身が2年ほど定住外国人でしたので、そちらの立場から考えられてよかったです。
- ・同じように画像を使っても見せ方が色々ある。丸囲み、矢印などわかりやすく見せる工夫で何倍も良いものになる。
- ・パソコンを利用すると漢字学習が広がること。また、外国人により興味を抱かせることがわかりました。
- ・パソコンを使用する教材。インターネットの使い方。同じ用紙、穴あけファイルをしてもらう(学習者に)
- ・漢字の成り立ちは非漢字圏の人にとっても大切で、教える側の整理の必要があると思いました。
- ・日本語そして漢字の初歩的な学習者に対する教え方についていねいに教えていただいたことは有益でした。
- ・おもしろかった。いろいろ新しいことがわかった。自分もぜひやってみたいと思うことがある。
- ・1 携帯の活用。2 知りたいと思っている漢字から勉強する方法。3 ポイントを限定して、広げすぎないこと。
- ・現在、漢字学習スタートの人がいて、本の選び方、接した方などすべて参考になりました。書く事に重きをおいていたので、読めたら十分の教えに目からうろこでした。
- ・12 月 6 日、各グループの発表後、批評(講座参加者、講師新庄先生)は、なるほどと納得できるものが多く、今後の活動に生かしたい。
- ・パソコンを使うことで学べる範囲がひろがることを知った。(パソコンの習得が必要であるが)特に自分が聞いた言葉を打ち込んで、思った漢字に変換できれば読みが正しいことを学べる。そして☆変換できなければまちがえていることに気づくことができる。学習者に合わせて、必要な漢字からはじめる。かけなくても良い、わかること、よめることで十分。
- ・ベーシックストロークは空に書いて覚えてもらう。

その他、下記のコメントも実践の場に繋がる意見であると思われる。

- ・教室の見学をさせていただくことができたのは、実際のながれを知ることができて、参加できてよかったです。また、最終回では、いろんな方の方法も知ることができ、勉強になりました。いい機会を与えていただきました。ありがとうございました。
- ・学習者が使える漢字、使いたくなる漢字から教えるというのは説得力がありました。さっそく駅や町の漢字を写真で撮るようになりました。

- ・今回教材を作ってみて、大変だったけれどもおもしろかった。漢字という切り口で入ったけれど、話題としてふくらませていける部分がたくさんあった。
- ・現場で(低調になっている)週1回のボランティアに単調になっていた。その中で今回の講習はいい刺激になった。①生活の漢字から入る指摘は目からうろこであった。②受講者の(各グループの)日ごろの熱心さに頭が下がる。又、雄弁で要領よく話すことに優秀な方ばかり集合している。これからがんばらなくちゃと思った。各先生方に貴重な時間を割いていただいて感謝いたします。
- ・思いがけない視点から漢字を見ることができました。これから生かしていこうと思います。
- ・グループ学習の発表がよかった。初歩的な学習者への教え方について学べてよかった。中級以上へのアプローチも組み入れてほしかった。
- ・ワークショップは迷いつつ初めて、現在の自分たちでできる範囲で作り上げた。「まあこのぐらいかな？」と思うが、他のグループのを見せてもらえたことが勉強になった。それぞれの観点があり、ねらい、まとめ方があり、とても興味深かったです。
- ・全体的に良かった。特にみなさんの発表を聞かせていただいて大変参考になりました。(料理教室風な教案がおもしろかった)

以上を鑑み、本講座の目標はある程度達成できたと思われる。

(11) 改善点について

受講者に課した教材作成という課題では、それぞれに工夫があり、予想以上に良い教材ができていた。また、教材作成を楽しんで取り組んでいたが、講座内に教材を作成する時間がとれなかったことが挙げられる。受講生は各地から集まっているため、遠い人は会う機会を作りにくかった。今後は教材作成に取り組む時間を講座内に設けることが必要である。

日本語ボランティアの経験者が多かったため、未経験の方から「萎縮してしまう。」との声があった。グループ分け際に配慮が必要だった。

アンケートにおいて、欠席者のフォローをという意見があった。意見を出した受講者はグループワークの際に欠席した方であった。本講座の最終回はグループワークの結果を発表し、ディスカッションを行う場であった。たとえ、グループワークに欠席したとしてもディスカッションに参加することで情報を得ることができるように配慮していたが、そう感じていない受講者もいたことは残念である。今後、欠席者に対し個別に連絡する等のフォローが必要であると考えられる。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

見て学ぶくらしのなかの漢字

(2) 対象

漢字を学びたいと思う定住外国人

(3) 目的・目標

日本に住んでいる外国人のための漢字教材、特に支援者と一緒に漢字を学習する際に用いる教材を作成する。

(4) 構成

はじめに

使い方

写真編

カレンダー、店、食べ物、駅、日本人の名前、住所、年賀状、学校、銀行・ATM、病院、薬、不在連絡票、パート・アルバイト探し

ルール編

漢字の構成①②③

(5) 使い方

支援者と、教材を基に会話をしながら学習をすすめる。

(6) 具体的な活用例

地域の日本語教室でグループ毎(ボランティア 2 名、学習者 3 名程度)に一つのトピックを取り上げ、それぞれの経験を話し合いながら関連する漢字の認識、また漢字の認識のために漢字を書く練習を行う。

活動の想定時間は 1 時間～2 時間程度。

学習者が街で見かけた漢字を学習するときに自宅でテキストを開き、自己学習をすすめる。

(7) 成果物の添付

別途添付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになることを目標とする。

留学生とは異なり、いわゆる「生活者としての外国人」とよばれる外国人住民は、日本語を生活の中で身につけているケースが多い。そのような形で身につけた日本語などの音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指す。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

これまで述べてきたとおり、漢字教室及び養成講座の受講生に実施したアンケート結果から本事業における目標である「日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになること」また「漢字学習支援者の養成」は達成できたと思われる。さらに、漢字教室の受講生のなかから、教室修了後に自主的に学習会を開きたいという声があがった。このことも本事業の目標が達成された事例である。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的なカリキュラムは生活場面について様々なケースが挙げられているので参考になるが、会話の習得が主であり、読み書きについては触れられていない。今後は文字習得の側面においても標準的なカリキュラムを作成する必要があると思われる。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

本事業の報告会を大阪市立総合生涯学習センターで行った。26名の参加があり、漢字教室の実施内容や、漢字の教え方についての意見交換がなされた。質問のなかには自らが参加する実践の場では漢字の学習支援は行っていなかったが、今後は取り組んで行きたい。という声もあり、文字習得、特に漢字の学習支援の必要性を伝えることができたと思われる。

なお、報告会のチラシ及び記録は(6)に添付する。

漢字教室に、養成講座受講生全員の見学だけではなく、「NPO おおさかこども多文化センター 藤村氏」、「関西学院大学言語コミュニケーション文化研究科 日本語教育研究 C(文字・表記教育)受講生」の見学を受け入れた。見学者それぞれの方が、地域における日本語教育や日本語教育研究に携わっており、本事業での実践を各自での活動場所において役立てるとのことであった。

また、地域の別団体との連携という意味では、本講座の修了後にも別の日本語教室で継続的に学習ができるように、大阪府下の日本語教室一覧を受講者に配布した。さらに第19回と第20回においてインターネットを用い、居住地の近くにある日本語教室の検索の仕方を教え、一緒に検索を行った。

(5) 改善点, 今後の課題について

漢字教室の受講生に行ったアンケート調査にもあるように「もっと勉強したい。」、「もっと授業時間(日数)を増やすと良い。」、「継続したい。」、「定期的に開講する価値がある」といった声があがっている。このように、今後は単発的な事業ではなく、漢字の習得を含めた在住外国人の日本語学習全般が公的な保障のもとで、継続的に行われることを切に願う

(6) その他参考資料

下記、漢字教室受講生 13 名に実施したアンケートの調査の結果を掲載する。アンケートは日本語のほかに、韓国語、タイ語、中国語、英語、スペイン語に翻訳し、受講生には一番答えやすい言語で回答してもらった。()内は補足である。

1. この教室をどうやって知りましたか。

- ・友達の紹介
- ・南大江のボランティアの方からの紹介
- ・知っています。(翻訳者注:たぶんもともと知っているってことが言いたかったと思う)
- ・ARUWAKU(翻訳者注:ハローワーク)
- ・御子神先生
- ・チラシ
- ・妻に教えてもらいました。
- ・インターネット
- ・大阪産業大学の日本語の先生に勧められた
- ・友達の紹介
- ・弁天町市民学習センターでのチラシ
- ・鳴野市民学習センターで知りました。

2. みなさんが勉強した漢字です。どのテーマがよかったですか。どのテーマが役に立ちましたか。○をつけてください。たくさん選んでもかまいません。

【パソコンの回】

カレンダー (お金)、店、スーパー、食べ物、駅、日本人の名前、年賀状、災害情報、学校、ATM
病院、薬、宅急便の不在連絡票、パート・アルバイトを探す。

【パソコンではない回】

漢字のベーシック・ストローク、住所を書く、漢字の意味が分かる記号 (部首)、漢字の読み方が分かる記号。

- ・全部
- ・「パート・アルバイト探し」以外全部役に立った。

- ・役に立った:【パソコンの回】店、スーパー、災害情報、病院、薬、不在連絡票、パート・アルバイト探し。【パソコンじゃない回】漢字の意味が分かる記号(部首)、漢字の読み方が分かる記号。
- ・役に立った:「パート・アルバイト探し」が一番役に立った。
- ・役に立った:パソコンの回全部。
- ・カレンダー、店、スーパー、食べ物、駅、日本人の名前、年賀状、災害情報、学校、病院、薬、宅急便の不在連絡票。漢字の意味が分かる記号、漢字の読み方が分かる記号。
- ・全部
- ・【パソコンの回】では「カレンダー(お金)」以外全部、【パソコンではない回】は住所を書く、部首、漢字の読み方が分かる記号
- ・年賀状、災害情報、宅急便の不在連絡表、パソコンではない回の授業全て
- ・(翻訳者補足:パソコンの回もパソコンじゃない回も全部)私にとってはとてもよかったのですが、ちょっと難しかったですね。

3. 授業の内容はどうでしたか。

- (7) このままでいい (8) もっと書きたい
(8) もっと読みたい (6) もっと話したい。

あなたのコメントを書いてください。

- ・コンピューターについてもっと勉強したい。
- ・とてもいいです。
- ・日本の社会常識、礼儀作法などもっと知りたい。
- ・この漢字教室はパーフェクトです。
- ・勉強がとても楽しかったので、別の漢字クラスがあれば、また勉強したいと思う。そのクラスでも修了証がもらえるといい。どの先生もとても親しみやすく、知識が豊富だった。クラスは楽しく、たくさん学んだことがあった。先生方、ありがとうございます！
- ・もっとべんきょうしたい。(原文日本語)
- ・私にとって、この教室はとても役に立ちました。最初は教え方にびっくりしましたが、あととても勉強になりました。テーマによる漢字の勉強はときどきむずかしくても、おぼえられるようになりました。(原文日本語)

4. 漢字を書く練習について聞きます。

- (3) たくさん書くことができた。 (9) もっと書きたかった。

あなたのコメントを書いてください。

- ・子供が入学するので、今より読み書きができるようになりたい。
- ・これでちょうど良かった。
- ・日本の常用漢字もっと勉強したい。
- ・漢字をきれいに書けるようになった。

- ・とてもよかったです。
- ・以前は漢字の勉強はおもしろくないだろうと思っていたが、勉強が始まってみると、勉強は楽しく、毎回時間があっという間に過ぎた。今ではもっと漢字を勉強したいと強く思っている。
- ・漢字の構成や構成部分の意味などをもっと勉強したかった。
- ・たくさんかんじをべんきょうしたい。(原文日本語)

5. パソコンを使って勉強しました。どうでしたか。

(10) よかった (1) 難しかった

あなたのコメントを書いてください。

- ・すべて良かった。勉強し続けたいが、できる？本当に勉強したい。
- ・もっとべんきょうしたいです。
- ・パソコンを使って勉強した事、始めです。少しパソコンで漢字を打ちました。
- ・難しかったけどおもしろかった。パソコンのやり方が分かるようになってきた。
- ・素晴らしい
- ・日本語での入力の練習やコンピューターで漢字を読む勉強はとても役に立った。自分の名前や住所をパソコンで打てるようになり、年賀状も作成できるようになった！おもしろいですよね！
- ・私にとって、パソコンかパソコンじゃないかはあまり大事なことはありません。でも便利だと思います。(原文日本語)
- ・パソコンはあまりスキじゃない。(原文日本語)

6. ほかに勉強したい漢字はありますか。それはどこで見た漢字ですか。

- ・日本ではどこに行っても漢字ばかりなので、全部の漢字を勉強したい。
- ・特に無い。
- ・「きれ」など(翻訳者注:「綺麗」きれい)
- ・常用漢字もっと勉強したい。
- ・なし。今まで勉強した漢字で十分。
- ・はい、他にもっと勉強したい漢字があります。
- ・たくさん漢字を勉強したいが、特にどこで見たかはわからない。
- ・もちろん、ほかに勉強したい漢字は沢山あります。たとえば、かんたんな新聞の漢字が読めるようになりたい。しているふつうの話を書けるようになりたいです。(原文日本語)
- ・はい(原文日本語)
- ・スーパー、病院、電車(で見る漢字を学びたい)

7. 授業の良かったところと悪かったところを教えてください。

- ・良くないところはない。前はパソコンが全然使えなかったが、今は少しできるようになってとてもうれしいです。
- ・先生全員ちゃんと面倒を見てくれた。教え方も上手。

- ・だいたい良かった。漢字の数を今より増やすと良い。
- ・先生方々の教え方が上手で漢字の意味が少しわかるようになった。
- ・先生達はとっても親切、丁寧を教えてます。心から感謝しています。
- ・悪いところは全くなく、全部よかった。
- ・授業の悪かった点は思い当たりません。
- ・このクラスに大変満足していて、もっと漢字を勉強したいと強く願っている。先生方の助けがあれば、良い漢字教室ができると思う。
- ・とても満足している。
- ・先生たちががんばって、良いほうほうを作りました。(原文日本語)
- ・読めることが出来るようになったので一人で出かけられるようになり、良かった。
- ・初めてパソコンで漢字に接したのでとても楽しく、また、活用できそうなので良かった。

8. 教室に来て、あなたの生活は変わりましたか。何が変わりましたか。どのように変わりましたか。例) 電車に一人で乗れるようになった。

- ・日本語が前より読めるようになった。もっと勉強したい。
- ・すべての側面が変わりました。
- ・ひとりで病院に行けるようになった。薬の説明文が読めるようになった。
- ・変わった。
- ・いろいろな人と一緒に勉強したり、話したり、楽しかった。
- ・自信ができた。気持ち的に余裕ができた。日本語が書けるようになって、読めるようになった。
- ・ご近所さんや友人と日本語で話せるようになった。
- ・スーパーで買い物ができるようになった。
- ・迷子になっても道を尋ねることができるようになった。
- ・テレビで言っていることの 60%を理解できるようになった(以前は0%だった)
- ・カタカナ、ひらがな、いくつかの漢字を使って日本語が書けるようになった。
- ・新聞、雑誌、本が読めるようになった。
- ・日本語を使って大阪(日本)で職探しができるようになった。
- ・住所が漢字で書ける。いくつかの漢字が読める。
- ・とても満足している。先生方ならいいクラスが作れると思う。
- ・はい！どこでも漢字が読めるようになりたいです。それはクラスの前でできなかった。(原文日本語)
- ・自分の名前や住所が漢字で書けるようになった。
- ・一人で電車に乗り、どこにでも行けるようになったので良かった。スーパー、病院など。
- ・特に変わったことはないが、勉強しながら情報を得ることができた。例) 年賀状、災害情報、宅配など。
- ・変化がありました。漢字を見たら(翻訳者補足: 中国語でではなく)日本語で読める字もありました。

9. この教室に来て、漢字の印象（感じ方）が変わりましたか。漢字の勉強の印象（感じ方）が変わりましたか。例）漢字が好きになった。

- ・漢字を書くのが好きになった。
- ・好きになった。大好き。もっと勉強したい。
- ・変わった。勉強が好きになった。自分のことひとりでやるようになった。
- ・漢字が好きになった。
- ・漢字が好きになった。もっと勉強したい気持ちがありました。
- ・漢字の勉強が楽しくなってきた。きれいに書けるとうれしく感じるようになった。
- ・漢字は語感や意味を持っていることがわかったので、点や線から単語や概念、感情を読み取ることができるようになりました。
- ・はい。最初は漢字が嫌いで、漢字を見ると頭が痛くなったが、全部の勉強が終わってみると、今は漢字が好きでもっと漢字を勉強したいと思っている。
- ・はい。今は漢字をもっともっと勉強したい。前は漢字の勉強は不可能だと思っていた。今は漢字の勉強が不可能ではないと思えるようになった。
- ・漢字学習はとても楽しかったが、私にとってパソコンを使う学習は難しかった。
- ・昔は読んでも意味が分からなかったが、今は大体分かるようになった。

10. この教室を終わってからも、一人で勉強を続けますか。何で、どうやって勉強しようと思っていますか。例）教科書と辞書を買って勉強したい。

- ・勉強する。
- ・勉強したい。先生に学校に連絡していただきたく、勉強を続けたいので、特にコンピューター。
- ・しない
- ・漢字の勉強を続ける。辞書や教科書を買って、声を出して練習する。
- ・パソコンで漢字を練習して、教科書と辞書を買って勉強したい。
- ・無理だと思うから他の教室で勉強しつづけたいと思う。
- ・はい。教科書、辞書、教室、テレビ、インターネットなど可能な限り全ての方法で日本語の勉強を続けたいと思います。
- ・続けたいと思う。他に漢字クラスがあれば是非行きたいが、今は自分で勉強しようと思っている。
- ・はい。忙しくないときにうちで勉強する。
- ・たぶん、先生といっしょに、勉強することができるかもしれません。（原文日本語）
- ・読むこと、書くこと（を勉強したい）
- ・日本語の教科書を（翻訳者補足：使って）勉強したいです。

11. もし同じような漢字教室があったら、また勉強したいと思いますか。
（ 12 ） はい （ 1 ） いいえ

- ・ぜひ

12. そのほか、思ったことを書いてください。

- ・このコースが終わっても、また勉強したい。なぜならば、初めて漢字を勉強したからだ。もし同じ内容でもう一度勉強ができれば、さらに理解が深まるのではないかと思う。
- ・ここで勉強できてとてもうれしい。本当にいろいろ勉強になった。先生方々が貴重な時間を作って教えていただき、ありがとうございました。本当に感謝しています。
- ・もっと勉強したい。日本語能力試験に合格すると仕事に有利だから。
- ・もっと授業時間(日数)を増やすと良い。
- ・今の漢字教室とっても良かった。継続したい。
- ・日本に暮らす外国人にとって、漢字教室は非常に重要です。またコンピューターを使うことで、積極的かつ効果的に学習することができます。先生方やアシスタントの方々事前準備や教授法もとても効果的でした。授業内容は明快で分かりやすく、様々な練習問題のおかげでスムーズに学習することができました。一般的に見ても、この漢字教室は素晴らしい(*注 原文に大きく記してある)、定期的の開講する価値があると言えます。さらに広範囲にわたる内容を扱い、長期間(10ヶ月)のクラスがあるとよいですね。この教室の開講にご尽力下さった皆様に心からお礼申し上げます。
- ・漢字を教えてくれてありがとうございました！とても楽しかったし、とてもたくさん勉強できました！
- ・わたしたちを教えてくださいありがとうございました！
- ・どうもありがとうございました。よろしくお願いいたします！(原文日本語)
- ・いろいろとありがとうございました。
- ・ここからずっと連携して、良い先生と共にできるプログラムがあったらいいと思います。
- ・日本語の漢字を勉強したいです。

下記、漢字学習を支援する養成講座受講生 19 名に実施したアンケート調査の結果を掲載する。

➤ 該当する点にチェックを入れて、ざっくばらんにご意見を書いてください。

☐ 新しく体得したこと、有益だったことがある。チェックは 15 名

- ・パソコンを使っでの学習は、パソコン操作についてもしっかり時間が必要なことを感じた。また、漢字を扱うのにやさしい漢字からしていくという視点ではなく、生活で使う場面から漢字を学習するという新しい視点を知ることができました。ありがとうございました。
- ・楽しくボランティアをすることがボランティアを続ける力だと改めて教えてもらった講座だった。パソコンではなく携帯電話を使って漢字学習の方法は良いアイデアだと思った。
- ・目からうろこのことがたくさんありました！やはり日常からたくさんの学習者さんに関わっておられる方の意見は貴重です。
- ・「パソコン入力」や「そらがき」を利用することがわかり、有益でした。
- ・PC の有効利用、活用の工夫点がいくつか。
- ・他の分野では色々と活動していましたが、日本語に関する活動は、ボランティアをはじめ、初めての経験でしたので、とても勉強になりました。私自身が 2 年ほど定住外国人でしたので、そちらの立場から考えられてよかったです。
- ・やはり実際授業を実習というのはすごく難儀なことが分かりました！
- ・同じように画像を使っても見せ方が色々ある。丸囲み、矢印などわかりやすく見せる工夫で何倍も良いものになる。
- ・パソコンを利用すると漢字学習が広がること。また、外国人により興味を抱かせることがわかりました。
- ・パソコンを使用する教材。インターネットの使い方。同じ用紙、穴あけファイルをしてもらう（学習者に）
- ・漢字の成り立ちは非漢字圏の人にとっても大切で、教える側の整理の必要があると思いました。
- ・日本語そして漢字の初歩的な学習者に対する教え方についていねいに教えていただいたことは有益でした。
- ・おもしろかった。いろいろ新しいことがわかった。自分もぜひやってみたいと思うことがある。
- ・1 携帯の活用。2 知りたいと思っている漢字から勉強する方法。3 ポイントを限定して、掘りすぎないこと。
- ・現在、漢字学習スタートの人がいて、本の選び方、接した方などすべて参考になりました。書く事に重きをおいていたので、読めたら十分の教えに目からうろこでした。
- ・12 月 6 日、各グループの発表後、批評（講座参加者、講師新庄先生）は、なるほどと納得できるものが多く、今後の活動に生かしたい。
- ・パソコンを使うことで学べる範囲がひろがることを知った。（パソコンの習得が必要であるが）

特に自分が聞いた言葉を打ち込んで、思った漢字に変換できれば読みが正しいことを学べる。そして☆変換できなければまちがえていることに気づくことができる。学習者に合わせて、必要な漢字からはじめる。かけなくても良い、わかること、よめることで十分。

・ベーシックストロークは空に書いて覚えてもらう。

☐ 疑問に思ったこと、わからなかったことがある。チェックは 4 名

- ・まだこれからいっぱい出てくると思います。
- ・ネット上にある写真やロゴなど(含む商標)使用する際、許可をとりつける必要がありますか？
- ・日本語検定 N3,N2,N1 などを受験する人たちへの教え方についても組み入れていただきたかった。
- ・ワークショップの取り組み方の説明が短く、把握しにくく、グループで相談し解釈した。もう少し具体的に理解したかった。
- ・漢字の下方にルビをふるやり方がわからない。

☐ 今後さらに自分で追求したいことがある。チェックは 7 名

- ・高校でのパソコンを使って漢字学習、教科指導で使えたら…と思う。
- ・実際に漢字を教えるとき色々実践してみたいです。
- ・汎用できる教材づくり。多様な生活シーンに合わせられる教材。
- ・漢字はこうしてできていたということが今回はっきりわかり、本当にありがたいと思います。もっと授業をするには準備がいることが分かりました。
- ・漢字に限らず少しでもいいから自分で考えて教材？的なものを作れたらいいと思った。
- ・今回学習できた初歩的な学習者への対応ならびに日本語検定上級受験者への対応など幅広く追求していきたい。
- ・継続して体系的な漢字学習の支援ができればよいのにといます。
- ・学習者のレベルはあまり意識しなくていいのではないかと感じました。「生活の漢字」はニーズに応じたテーマをふまえているので、広げる意図があればいくらかでも拡大できると思いました。
- ・自作の教案を分かりやすく改善する。

●全体の感想、良かった点や悪かった点などをお聞かせください。

・第 5 回漢字教室の見学は実際の授業の進め方、内容が把握できてとても有意義でした。学習者に質問されましたが、辞書を持っていなかったのでの的確な返事ができなくて残念に思いました。又、この講座を受講することができてよかったです。ありがとうございました。

- ・最後の宿題発表がとても楽しかった。また、それぞれの発表内容はとても参考になった。
- ・教室の見学をさせていただくことができたのは、実際のながれを知ることができて、参加できてよかったです。また、最終回では、いろんな方の方法も知ることができ、勉強になりました。いい機会を与えていただきました。ありがとうございました。
- ・学習者が使える漢字、使いたくなる漢字から教えるというのは説得力がありました。さっそく駅や町の漢字を写真で撮るようになりました。
- ・楽しかったです。
- ・初めてボランティアの世界を知ることができて、とても参考になりました。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・もっと養成講座があればとても分かったと思いました。
- ・今回教材を作ってみて、大変だったけれどおもしろかった。漢字という切り口で入ったけれど、話題としてふくらませていける部分がたくさんあった。
- ・現場で(低調になっている)週1回のボランティアに単調になっていた。その中で今回の講習はいい刺激になった。①生活の漢字から入る指摘は目からうろこであった。②受講者の(各グループの)日ごろの熱心さに頭が下がる。又、雄弁で要領よく話すことに優秀な方ばかり集合している。これからがんばらなくちゃと思った。各先生方に貴重な時間を割いていただいて感謝いたします。
- ・教室型の日本語学習が参考になった。参加者が遠方だったため連絡がとりにくく、12月6日の教材作りが不十分となり残念だった。
- ・思いがけない視点から漢字を見ることができました。これから生かしていこうと思います。
- ・いろんなことを教えてもらってありがとうございました。よかったです。
- ・グループ学習の発表がよかった。初歩的な学習者への教え方について学べてよかった。中級以上へのアプローチも組み入れてほしかった。
- ・このような機会に今後参加し、いろんなことを体得したいと思います。情報発信をよろしく願います。
- ・ボランティアとしての立ち位置など再認識しました。学習者に気づきをうながすのが役目ですか？漢字教育の苦労したところを講師の方から聞きたかった。
- ・9月27日に10月4日はお休みするといったのにグループ別で発表することは何も言ってくれなかった。10月6日はチンプンカンプンで一日むだにした。用事があって休んだのだから、何の連絡もなしに休んではないのに連絡はほしかったです。最初に黙って聞いてくださいと言われたのでグループに入りにくかった。
- ・ワークショップは迷いつつ初めて、現在の自分たちでできる範囲で作り上げた。「まあこのぐらいかな？」と思うが、他のグループのを見せてもらえたことが勉強になった。それぞれの観点があり、ねらい、まとめ方があり、とても興味深かったです。
- ・全体的に良かった。特にみなさんの発表を聞かせていただいて大変参考になりました。(料理教室風な教案がおもしろかった)

下記、外国人のための漢字教室報告会の実施記録を掲載する。

外国人のための漢字教室報告会実施記録

日時 : 2013 年 2 月 23 日(土) 14:00～14:50

(識字・日本語カフェの場を借りて実施)

場所 : 大阪市立総合生涯学習センター ネットワークコーナー

報告者: 新庄あいみ(『生活の漢字』をかんがえる会)

参加者: 26 名(識字・日本語カフェスタッフ6名含む)

その他出席者: 漢字教室受講生 鄭さん(H22～24 年度受講生 韓国出身)

大阪市立総合生涯学習センター 能崎、丸岡

多文化共生センター大阪 佐藤

『生活の漢字』をかんがえる会 永井、御子神

配布物: レジューメ・漢字教材サンプル

内容:

1. 活動の主旨、漢字教室の概要
2. 漢字教材の説明
3. 漢字教室受講生のお話・Raul さん(H24 年度受講生 キューバ出身)にインタビュー
4. 質疑応答

以上